

チェロ 渡邊 研多郎 Kentaro Watanabe vol.37



低音から高音までの広い音域と様々な役割がチェロの魅力

♪楽器を始めたきっかけは？

小学校1年のときに、両親に「ヴァイオリンをやりたい」と言ったところ、楽器商をしていた父が用意してくれたのがチェロでした。2分の1サイズのチェロでしたが、「すげー！ヴァイオリンより大きい！」と喜び、そのままチェロに。

♪オーケストラプレイヤーを目指したきっかけは？

最初に習ったスズキ・メソッドの教室ではよく合奏をしていたので、合奏やアンサンブルが好きになりました。藝大付属高に進み、授業でもオーケストラを学ぶようになり、「1つの音楽の一部になる」という感覚に惹かれました。その後5年くらいプラハに留学しましたが、そこでも仲間内でオーケストラの演奏会を開いたりして楽しんでいました。日本に帰ってきて一番最初に受けたオーディションが山響で、運よく仲間に入れていただき、もう15年になります。

♪プラハでの生活について

最初に習ったチェコ人の先生の紹介でした。プラハは、街で生活しているだけで楽しかった。路面電車が走っていて、それで通学していました。日本より物価が安く、ビール三昧(笑)！そして、毎週のようにチェコフィルを聴いていました。学生券で確か50円くらい!!今考えてもとても贅沢な環境だったと思います。

♪山形でお気に入りのもの、場所は？

温泉かホームセンターですね。温泉は、お風呂でも岩盤浴でもよく行くようになりました。地元の埼玉から温泉に行くとなるとある意味小旅行になりますが、山形では行って帰ってすぐビールが飲めるという環境が最高です(笑)。ホームセンターは、家をリフォームするのに木材や工具を探してよく行きます。薪ストーブ用の薪を置く棚を作ったり、収納スペースが足りないキッチンにパントリーを作ったり。そういう設計図を作ることも好きですね。

♪好きな作曲家・曲は？

やっぱりドヴォルザークです。全部素晴らしいですが、初期

の室内楽の作品が好きです。民衆音楽として伝わってくる、誰が聞いても良いなと思える曲。ピアノ四重奏曲第1番を良く聴きます。同じようにマルティヌーも好きで、チェロソナタ第3番が特に良いですね。

♪チェロの魅力は何ですか？

音域が広いことです。出そうと思えば5～6オクターヴ出ますね。オーケストラの中では、支えとなる部分を補う役割もありますが、室内楽では高音の艶やかな音も魅力です。

♪好きなチェロ奏者は？

チェコの師匠、ミロスラフ・ベトラージュさんです。「ザ・チェコ・トリオ」というピアノ・トリオのメンバーでもあり、プラハ音楽院の教授でもある方で、「自分の意思で楽器を自在に扱うこと」について常に考えている方です。そのためにいつも基礎練習をさせられていましたが、先生がおっしゃらなかったことに気づく瞬間を与えていただいているのだと感じられます。

♪使用している楽器について教えてください。

イタリアのフェルモという町で作られた、アンドレア・ポスタッキ二作、1829年作の楽器です。フルサイズを持ってからは4代目の楽器になります。イタリアの楽器には憧れを持っていて、首席奏者の小川さんから紹介していただきました。

♪休みの日の過ごし方は？趣味・特技はありますか？

DIYか、犬と昼寝です。11歳のラブラドル・レトリバーと7歳のゴールデン・レトリバーと一緒に、休みは大切に家の中でゆっくり過ごします。チェロ・アンサンブルや室内楽にも積極的に取り組んでいて、山響とは違う環境で自分にとってとても良い刺激になりますし、楽しい時間が過ぎて、声を掛けていただけて幸せに感じています。

♪最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

やまぎん県民ホールという新しいホールが間もなくオープンし、山響を取り巻く環境も変わります。これからは更に進化した、今まで聴けなかった山響を聴いていただく機会もきっと増えていきます。ぜひ聴きにいらしてください！